

## 結 成 宣 言

JAMゼネラルユニオン（以下「JAM・GU」という）は、

- (1) 「『働きがいのある人間らしい仕事』（ディーセントワーク）を通じた生活水準の改善（IISZ-26000）」の実現のために、
  - (2) ステイクホルダー（利害関係者）全体の利益を大切に、
  - (3) 個別労使紛争を集团的総理紛争に止揚し、
  - (4) 全ての労働者が結集できるユニオンを結成していくこと、
- を「基本理念」としていく。

全労働者に占める未組織労働者は83%、100名以下の企業の未組織労働者は99%である。労働組合が存在しない多くの企業では、労働者を物のように扱い、利益優先主義が蔓延り、企業のガバナンスが欠如していく。企業倫理は崩壊し、法令違反が弥漫する。どんなにいい法律があっても、内部通報制度ができて、この流れは止められない。

JAM・GUは、中小企業に働く未組織労働者の組織化を最大のテーマとして取り組んでいく。

人が、仕事をしている時間は人生で一番長い。働くということは、労働時間の長さではなく、生産性の向上が目的でもない。明るく楽しい職場環境の中で、人が大切にされ、生きがいを感じて働くことである。

JAM・GUは、ハラスメント等がない職場を作り、人権基準を尊重する人権経営を実現し、企業文化を変えることを重要課題と考えている。

労働組合づくりは簡単ではない。相談者との信頼関係を作り「仲間、家族を守り、職場環境の改善へ向けた意見・提案を会社経営に反映させるための武器」として、唯一団体交渉権のある労働組合を目指す。

戦略は不可欠である。戦略は「思考」から生まれる。オルグは職場の核となる人との信頼関係を醸成し、「思考」し情報を収集、実践を重ねることで労働組合は作れる。

「失敗が提供するの、楽々と真っ直ぐに滑り落ちていくゆるやかな坂道。成功の道は、いばらだらけで苦勞するしかない」と言う。

JAM・GUは、無難な道を捨てる。そして、「いばらだらけの苦勞する道」を選択し、明るく楽しく組織化に取り組む。

組織化は、伝播する。組織化が、新たな組織化を生んでいく。

未組織の職場に労働組合を作ることは、希望を生む。希望には羽根があり、組合作りに取り組む者の魂にとまる。女神は微笑んでくれる。

JAM・GUは、「労働組合には力がある」を前面に、「ディーセントワーク」を基本とし、「ワーク・ライフ・バランス」と「楽しく仕事をする」ことの実現を目指し、本日、此処に発足する。

2019年3月1日

JAMゼネラルユニオン結成大会